

平成26年度

活動報告書

東青梅デイサービスセンター すずらん

平成27年3月8日（日）

9：30～

社会福祉法人 積善会

<利用者サービス>

1、送迎サービス

送迎サービスは、安全運行を第一に、利用者様の状態に応じた援助を行いました。ドア・トゥ・ドア」送迎を実施しています。

認知症を患っている利用者様に関しては、「デイサービスに行く為に、自宅から外に出て、車に乗る」という動作を理解し、行動するまでに時間を要することがあります。対応としては、まず職員の顔、声を覚えていただき、会話、ジェスチャー等でコミュニケーションを図り、信頼関係を築きあげることから始めていきます。「自宅から外に出る気持ちになれる」という自立を支援していきます。

利用者 送迎地区 平成27年3月1日現在 <契約者>

勝沼	新町	千ヶ瀬	河辺	駒木町	二俣尾	合計
3名	3名	1名	2名	1名	2名	12名

2、健康チェック

体調や健康状態（顔色、体温、脈拍、血圧、食欲、排便状態等）のチェックを行いました。食事、水分が不足と思われるご利用者様には、利用時の食事、水分摂取量を記録し、連絡ノートを活用しご家族様への情報提供を行っています。

毎月の体重、バイタルについても集計した記録をご家族へ情報提供をしました。利用者ご家族様より「主治医との連携が図れて助かります」とのお声を頂戴しています。

3、入浴

入浴は身体を清潔にして感染の予防や身体機能の維持を図ること、心身のリラックスとリフレッシュという生活行為として行っています。利用者様の状態及びペースにあわせて安全にゆっくりと入浴を楽しんでいただけるように援助いたしました。利用者様の有する能力に応じて、普通浴、機械浴を選択し入浴サービスを実施しました。

担当の介護支援専門員及び、ご家族様と相談し、自宅での入浴が困難な方を中心に、通所介護計画書に位置づけ、入浴サービスを提供しています。

4、機能訓練

在宅で継続して生活ができるよう、「できること」を「していることに」をテーマに、利用者様の有する能力に応じて、機能訓練に取り組みました。

食事・入浴・排泄等、日常生活動作の中での訓練（生活リハビリ）を実施致しました。

ご自宅ではIADL（手段的日常生活動作）が全介助の方に対しての生活リハビリ訓練としては、身近な事、例えば、「お茶を入れる」という動作を「できること」を「していることに」をテーマに介護サービスを提供した場合の働きかけとして、持ちやすいポットにお湯を入れ、テーブルに必要な物品の準備までを、職員がお手伝いし、利用者様が行なえる環境を作ります、そこからは職員が見守る中、手を添える等のお手伝いをしながら、一人の利用者様が、他の利用者様の為に「誰かのために」お茶を入れるという動作に対して働きかける事で、「お茶を入れる」という動作が役割に変わり生活意欲の向上につながります。

又、ボールやタオルなどを使用したプログラムや、音楽に合わせた体操を実施し、利用者様より、笑いあり、笑顔ありと楽しんで訓練していただいています。

歌に関しては、好きな利用者様が多く、「北国の春」や「王将」、「お富さん」等の歌詞を紙に大きく書き、職員と一緒にゆっくり読みながら歌うことで、日頃、発語があまり聞かれないご利用者様から、とても良い歌声を、引き出せる事が出来ました。

書道や音読、ことわざ練習、簡単な計算練習を行いました。ことわざに関しては、思い出して話すことで、回想の効果も出ています。普段ほとんど声を出さない利用者様から、「犬も歩けば棒にあたる」と元気のいい声で話されている事がとても印象的でした。

5、給食（栄養改善）

安全で美味しく栄養バランスのとれたお食事の提供に努めました。楽しくゆとりある食事サービス提供に努め、利用者様の有する能力に応じて、食事形態を調整させていただき、できる限りご自分で食事が摂取できるように、自助具の活用や、座位のポジショニングを工夫し、援助いたしました。職員も一緒に食事を食べるスタイルをとり、このことにより利用者様もゆっくり、安心して食事が楽しめたと思います。

定期的に嗜好調査を行ない、利用者様のご希望に応じています。月に1回～2回選択食（出前の日）を実施しています。選択食は好評で、皆様にご満足頂いています。

又、月に1回～2回専属の管理栄養士と調理師と共にクッキングリハビリ（クックリハ）を実施しています。お料理をすると脳が活発になります。前頭葉の大部分を占める前頭前野は人間だけが特別に発達していて創造力、記憶力、コミュニケーション力、自制力などの源泉です。メニューを考え、切る、炒める、盛り付ける、一連の作業をとおして前頭前野を活性化します。

利用者様の食事摂取動作状況（契約者12名）

自立	見守り	助言	一部介助	全介助
2名	2名	5名	2名	1名

6、口腔ケア

口腔ケアの目的は、口の中を清潔にするだけでなく、歯や口の疾患を予防し、口腔の機能を維持することにあります。また、口腔ケアはQOLの向上のみならず誤嚥性肺炎などの全身疾患の予防、全身の健康状態の維持・向上にもつながります。口腔内細菌と内科疾患との関連性、咀嚼の機能と老化・認知症との関連性など、口腔環境が高齢者の全身の健康と密接に関連していることが、近年明らかになってます。

細菌の塊である歯垢は、ムシ歯や歯周病の直接的な危険因子であると同時に、全身疾患を引き起こす菌の温床としての役割を果たす可能性が高いです。要介護高齢者は、健康な人にとっては病原体とはいえないような細菌によって、日和見感染症（抵抗力が弱かったため、普通は病原性を示さない菌による感染症）、感染性心内膜炎や誤嚥性肺炎に陥ることがありますが、口腔ケアを行えばこれらの疾患を予防できる効果があります。口腔ケアは、単に歯や歯茎のためだけではなく、生活援助に加えて全身疾患の予防など、生命の維持・増進に直結したケアでもあります。

利用者様お1人おひとりの状態にあわせ「できること」を大切に、磨き残し等ない様衛生面への配慮も行っています。

7、生活相談

利用者様の在宅での生活が快適に送れるように、ご家族との相談を実施いたしました。主に送迎時に情報を提供し、必要に応じて介護相談、助言を行いました。特にご相談が多い内容としては、排泄介助、認知症周辺症状に関するご相談です。「時間がわからない」「場所がわからない」などといった失見当識の症状に対する相談が多く聞かれていました。排泄に関しても、「オムツの当て方はどうすればよいか」、「どのようなオムツを選択すればよいか」というご相談が多く聞かれていました。その都度、具体的な介護方法についてお答えしています。又、連絡ノートの活用は継続して実施しています、日頃よりお忙しいご家族様には、「ノートでの情報交換はとても助かります」とのお声を頂戴しています。

8、季節行事、外出、生きがい活動サービス

認知症対応型通所介護計画書に、効果的な機能訓練としての行事・外出・ドライブ等への参加を組み入れ実施いたしました。

月	活 動	参加者	内 容
4月	桜の花見（河辺下グラウンド・羽村市チューリップ畑散策）	15名	満開の桜を見ながら利用者様同士で楽しそうに談笑されていました。 チューリップ畑内を散策し花見を実施 利用者様に春の季節を感じていただきました。
5月	つつじハイク（薬王寺・塩船観音）	10名	満開のつつじに利用者様、とても良い表情をされていました。
7月	七夕飾りつけ	9名	七夕飾りつけ、願い事を短冊に書いて歌を歌い、昼食はお祝い食を召し上がり、楽しんでいただきました。
8月	夏祭り会	11名	おめんや、提燈を飾り、夏祭りの雰囲気づくりを行い、利用者様に楽しんでいただきました。 かき氷・たこ焼き・ヨーヨー釣り・金魚（玩具）すくい・お菓子釣り・射的等のゲームが好評でした。
9月	敬老会	10名	ジュースで乾杯の後に特別食のお祝い膳を召し上がり、14時からはボランティアによるマジックショーと剣舞の披露を鑑賞しました。
10月	秋の日帰り旅行（巾着田曼珠沙華公園）	3名	日高・高麗川沿いの河川敷にある、赤い絨毯を敷き詰めた様な曼珠沙華を観賞し、「極和美膳・暖らん」にて昼食をとりました。
12月	クリスマス会	15名	職員による、歌や踊りの余興に盛況でした。ご利用者様からは、笑いあり、拍手ありと楽しんでいただきました。サンタクロースによるプレゼント皆様良い表情がみられました。
1月	新春お餅つき	5名	職員が杵と臼でついた、つきたてのお餅（あんこ・大根おろし・黒ゴマ）を召し上がり楽しいひと時を過ごしました。

その他、市内ミニドライブや近隣散歩を適時実施しました。

9、＜防災訓練の実施＞

従業員等の防火知識並びに消防技術、応急救護技術及び震災対応措置の向上を図るために防火・防災・応急救護に関する訓練・教育を年2回以上実施（7月・12月）消防計画書による。

・平成26年6月28日 14:00～15:00

内容：火災を想定した総合訓練

10、＜職員内部研修・会議の実施＞

月	研修内容
5月	従業者に対する認知症及び認知症ケアに関する研修
6月	利用者等のプライバシーの保護・個人情報保護の取組に関する研修
7月	身体拘束等の排除のための取組に関する研修
8月	従業者に対する医療に関する教育、研修
9月	ターミナルケアに関する従業者に対する研修
10月	感染症及び食中毒の発生予防及び蔓延防止に関する研修
11月	従業者を対象とした、倫理及び法令遵守に関する研修
12月	事故発生予防又はその再発の防止に関する研修
1月	事故の発生等緊急時の対応に関する研修
2月	非常災害時の対応に関する研修
3月	精神的ケアに関する従業者に対する研修（ターミナル）
適度	マニュアル等の見直しについて（勉強会にてマニュアルの見直し周知徹底）
適度	ケースカンファレンス

11、＜外部研修会＞

- ・青梅市介護サービス事業者連絡会
- ・青梅市通所介護・通所リハ連絡会
- ・青梅市地域密着型サービス連絡会
- ・青梅市地域密着型サービス連絡会勉強会
- ・青梅市地域密着型サービス連絡会総会
- ・東京都認知症介護実践者研修
- ・認知症対応型サービス事業管理者研修

その他、適時、必要な外部研修会へ積極的に参加をしています。

12、＜職員への資格取得支援＞

ホームヘルパー2級、介護福祉士、介護支援専門員資格取得支援等必要な資格支援を行い、職員の介護スキルの向上を図りました。

13、＜地域活動＞

東青梅1丁目納涼盆踊り大会、自治会防災訓練、資源回収、青梅大祭広報紙協賛などの自治会活動、地域活動へ積極的に参加をし、地域の皆様と協力体制で、地域に開かれた福祉サービスを目指し、地域社会に密着したセンターとなるように取り組みました。

※10月に参加予定していた運動会は中止となりました。

14、＜事故・苦情の状況＞

ヒヤリハット報告 8件

内容

- 1、ベッドで足を擦る
- 2、ベッドに端座位
- 3、帰宅時の薬の入れ間違い
- 4、ガラス窓にぶつかる
- 5、トイレで転倒
- 6、車椅子よりずり落ちそうになる
- 7、一人でエレベーターに乗ってしまう
- 8、歩行時の転倒

事故状況報告及び苦情受付は無し

15、その他

以前より自治会から設置依頼のあった「AED」が本部からの許可が下り、購入することが出来ました。今後、救急時災害時等に使用します。

(玄関に「AED」設置のステッカー)